

2010 年 05 月 28 日

国際ロータリー第 2640 地区  
世界社会奉仕委員会 御中

松原ロータリークラブ

報告者名前      岡田 安司

## 2009～2010年度 活動報告書

# 世界社会奉仕 (WCS)

見出しの件につき、当クラブで実施したWCS（世界社会奉仕）活動について、下記の通り報告します。

### 1) 活動内容 （実施国・日時・場所・対象等について報告書があれば別紙と記載し添付して下さい）

5月13日深夜関西国際空港を発ち、タイ国際空港を経て、チャンマイ国際空港へ到着、翌日市内の神経科病院を訪問。施設長の説明を受け設備の拡充のため、30万円を寄付。その後施設を見学。脳神経の検査のためのCT装置が20年前のものが一台だけだと言うことに一同驚いた。



翌日メーサリアンという地区にある松原ロータリークラブが以前建築したエイズ孤児施設にある「河内の家」という寄宿舍を見学に行った。片道 210km の悪路を 4 時間近くかけて行った。エイズ孤児寄宿舍は各国からの援助でうまく運営されていて現在施設にいる子供たちは全部で 26 名。そこを卒業した人たちが管理運営しているという形態を取っていた。チェンマイから買っていった日用品を贈答し、10 万円相当を寄付した。お返しに皆に民芸品の手作りのポンチョを頂いた。



## 2) 活動結果 (反省や今後の目標などもあれば記載して下さい)

タイの病院は医療保険が無く、お金の無い人は町のドラッグストアで薬を買って治療していると聞いた。私たちの訪れた病院にも多くの患者さんがいたが、実際かかれるのは一部の裕福な人たちだけだそうである。医療機器もほとんどが日本製で多分中古品だと思う。今後日本の医療機器メーカーと交渉して中古品を安く送れないか検討したい。

またメーサリアンの施設では「本当に困っているものは何ですか」という質問に対して、「本当は毎日の食事です」と、か弱く答えたことには本当に考えさせられた。松原ロータリークラブではMRC Aなるファンドを持っているがもう少しこれの運用を考えなければいけないと反省した。